

海の安全レポート

第七管区海上保安本部
海の安全推進室

TEL.093-331-6395(交通部安全対策課)

第158号 令和2年5月号

BACKNUMBER

https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_anzen_report/

岸壁でも気を抜かないで！

【釣りの際には万全の装備を！】



【海中転落に注意！】



5月下旬、次の事故がありました。

① 家族連れで岸壁に釣りに来ていた子供が誤って海中に転落

② SUPで釣り中にパドルを流され帰還不能

幸い、「**救命胴衣の着用**」と「**連絡手段の確保**」により、当事者は命に別条はなく、早急に救助されました。

■ウォーターセーフティガイド

海上保安庁では、ウォーターアクティビティを誰もが安全に安心して楽しめるように、事故防止のための情報を発信する総合安全情報サイトを開設しています。以下のURLまたはQRコードをご覧ください。

https://www6.kaiho.milt.go.jp/info/marinesafety/00_totalsafety.html

釣り編はこちら→



SUP編はこちら→



海に出かける時は…

◆海象状況の変化に注意しましょう

海は比較的穏やかに見えても、時折、霧・大きな波や突風・竜巻などの自然現象が発生することがあります。マリナーを楽しむ際は自然現象の変化も想定し、海上模様に十分に注意しましょう。

◆単独行動は避けましょう

過去10年間に発生した船舶海難はプレジャーボートや漁船といった小型船舶が75%を占め、海難の種類は衝突が最も多く全体の32%、次いで乗揚げが13%となっています。衝突・乗揚げの原因は見張り不十分・操船不適切・居眠り運航によるもので38%を占めています。このことは釣り等に没頭するあまり、周囲の見張りを怠ったことが原因と考えられます。できるだけ複数人で行動することにより、周囲への見張りを増やし、いざという時の早期の避航動作へつなげましょう。

また、万一来るに備え、携帯電話は防水パックに入れ連絡体制を保持しましょう。

◆救命胴衣を着用しましょう

過去の海難事故の発生状況から救命胴衣着用者の方が生存割合が高いという結果がでています。自らの命を守るためにも救命胴衣は必ず着用するようにしましょう。

緊急情報配信サービス（電子メール配信サービス）



<https://www7.kaiho.milt.go.jp/micsmail/reg/touroku.html>

新規登録・登録変更・登録解除は、上記のURL、二次元コードの案内から、指定のメールアドレスへ空メールを送信し、返信される案内メールに沿って行ってください。

灯台などで観測した気象・海象の現況、海上工事の状況などの「海の安全情報」をインターネットから提供しています。

HPへは海の安全情報で検索！

海の安全情報

検索

※海の安全情報の緊急情報配信サービスに登録すると「灯台で観測したリアルタイムな気象情報」「竜巻目撃情報・突風に関する緊急情報」「航行に支障をきたす流木などの漂流物情報」などの情報を入手することが出来ます。（登録は無料できます。なお、データ通信料は発生します。）